

「イクメンプロジェクト」第4回「イクメンの星」に選定された方

| | |
|--|-------------------|
| ニックネーム | 新田龍キャリア教育プロデューサー |
| 本名 | 新田 龍 (にっ た りょう) |
| 職業 | 会社経営、大学講師、ビジネス書作家 |
| 年齢 | 34歳 |
| 育休・育児体験談 | |
| <p>私が「ベンチャー企業でハードワーク」のサラリーマンを辞めて、独立することを選んだ大きな理由は「妻のキャリアを応援して、育児もしたい!」という強い思いでした。</p> <p>子供は欲しかったのですが、共働きでお互いハードワーク。妻は仕事で実績を残していて、出産と育児でキャリアを中断させてしまうのは不本意だし、世の中にとっても損失だと考えたのです。</p> <p>そこで、私自身が独立して時間の自由をつくり、家事、育児にも関わりながら妻のキャリアをサポートすることを決意。2005年に独立し、3年後女兒に恵まれました。</p> <p>現在は、朝8時～10時、そして夜18時～21時は「家事と育児の時間」として、再優先でブロックしてから仕事の予定を入れています。託児所の送り迎えや夕食の準備なども妻と分担。仕事にまわす絶対的な時間は減りましたが、その前提で予定を組むことでかえって効率的に時間を使えていますし、「限られた時間を大事に使おう」という意識になりますね。</p> <p>ここまで育児に関わらなければ、得られなかったことは本当に多いです。</p> <p>「昨日までできなかったことが、今日できるようになった」と成長に気づける喜び。 「自分たちの態度やログセを真似している!」と気づいたときの反省。 「〇〇ってなに?」「〇〇するのはなぜ?」と聞かれ、説明するときの自身の学び…</p> <p>常に自分自身も学ばされ、成長していることを強く感じます。そして、これまで自分自身を育ててくれた家族や、周囲のあらゆるものにも深く感謝したい気持ちになります。</p> <p>どれだけ本を読んだり、体験談を見聞きしたりしても、実体験に及ぶものではありません。</p> <p>ぜひ育児の素晴らしさを多くの人に体感頂き、子育てしやすい社会にしていきたいですね。</p> | |